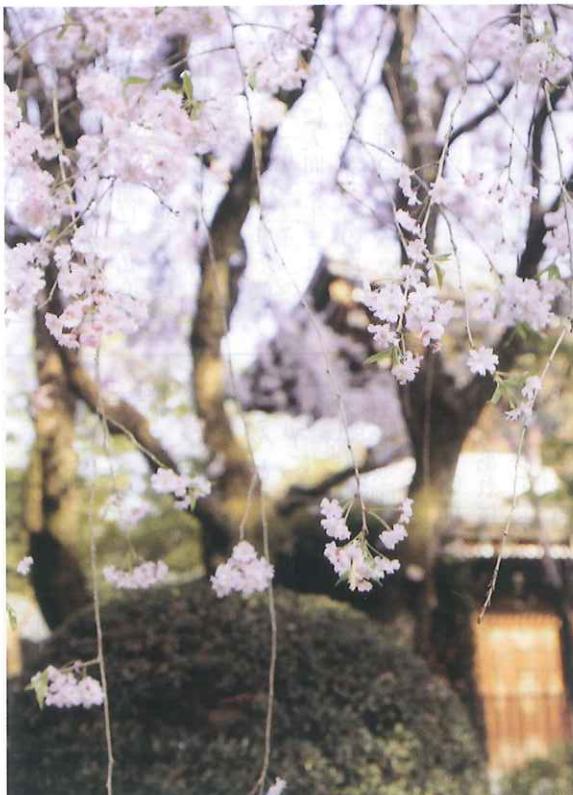


東京天台

<http://www.tendaitokyo.jp/>



宗教教誨では、
正しい人間らしい心に立ち返つ
てもううように、
二度と罪を犯すことのない
ように、おしえさ
とすということです。

現在日本には刑務所、拘置所、少年少女の更正施設等の矯正施設が百四十あり、それら施設で約千八百名の教誨師が収容者の更生にむけて活動しています。

宗教を柱とする教誨師に

は、キリスト教各派、仏教各宗派の他、約九十の様々な宗教の方々がいて宗教教誨を行っています。また、時には収容者の葬儀や、彼岸の慰靈法要なども勤めます。

そのほか俳句、短歌、絵画等

の教室を通しての教誨や、薬物・アルコール依存や暴力団からの離脱指導の教誨と、多岐にわたった教誨活動が行われています。昨今は外国人の犯罪も増えていますので、外國語による教誨も行われています。

教誨とは文字通り、「おしえさとす」ということです。道をはざれてしまつた自分の心をよく見つめさせ、正しい人間らしい心に立ち返つてもううように、二度と罪を犯すことのないよう、おしえさとすということです。

情況次第では誰もが犯罪になり得るのだということは決して誇張ではないという思いです。人間は皆それだけの弱さを持つてゐるのです。ですから、堀の中に入ると、入らずにいるのとは、ほんの少しの違いに過ぎないなど、そのことはつくづく感じできま

平成二十二年 春彼岸号

発行所
天台宗東京教区

寺本亮洞

〒107-0062 東京都港区南青山1-3-22
TEL.03-5785-3481

仏心を育む

教誨師の活動

はぐく

きょう

かい

し

複数人に対する集合教誨と、一対一の個人教誨があります。特に個人教誨では、犯罪に至るまでの気持ちや情況などを詳しく訊くこともできますので、もう少しの忍耐力と我慢があつたら犯罪も未然に防げたのにと思うことが度々です。そしてまた、私自身そんな切羽つまつた情況におかれたりときとか、ひょつとした出来事が起つたときに、自分が制することができるだらうかと考えたとき、自分はやらないという確信が持てないことも感じるのです。私が今、罪を犯さずにすんでいるのは、そういう情況になかつたからで、衣食住が足りて、対人関係に恵まれていたからに過ぎないと思うのです。

情況次第では誰もが犯罪になり得るのだということは決して誇張ではないという思いです。人間は皆それだけの弱さを持つてゐるのです。ですから、堀の中に入ると、入らずにいるのとは、ほんの少しの違いに過ぎないなど、そのことはつくづく感じできま



ました。そう思うと、おしゃさとす、などと容易には言えません。

仏教では、人間の心には十の世界があるといいます。上は仏さまのような慈悲深い仏心から、下は我欲にまみれた自己中心の人間の不幸を喜ぶような恐ろしい悪心まで、十段階の心がどんな人にも備わっているのです。罪を犯してしまったのは悪心が大きくなっています。

るからです。仏心が大きいときには人を助けます。誰でもいいから人を殺したかったとあるのです。罪を犯した自分にも仏心はあるのだと思付いてもらい、少しでも大きくそこの仏心が育つよう勧める、そのことに人間に生まれてきましたことの意味があるのであります。

昨年男性アイドルグループが歌つて踊るゴキブリ駆除のコマーシャルで最後の決め台詞に「ゴキブリ・トゥー・ザ・ブン」と言つてゐるのがあつたでしょう。仏教的には「ゴキブリさん、どうか極楽往生しますように」とでも訳せばよいのでしょうか。

古今東西、兎角人間から嫌われてきた彼の生物であります。新聞紙で叩き潰すこともあるれば、殺虫剤を撒くこともあるでしょう。しかし、目の前で息絶えてゆく姿に「極楽往生して下さい」と思う人は稀であります。

ただ筆者は例のコマーシャルを見て直感的に思つたことがあります。それは「ゴキブリ・ケイム・フロム・ヘブン」ということ。言うなれば「仏さまの使いでこの世に現れた」という事です。今からその理由を説明しますので、嫌がらず最後までお付き合い下さい。

『観音經』という経典に観音ボサツが三十三の様々な姿

が歌つて踊るゴキブリ駆除のコマーシャルで最後の決め台詞に「ゴキブリ・トゥー・ザ・ブン」と言つてゐるのがあつたでしょう。仏教的には「ゴキブリさん、どうか極楽往生しますように」とでも訳せばよいのでしょうか。

古今東西、兎角人間から嫌われてきた彼の生物であります。新聞紙で叩き潰すこともあるれば、殺虫剤を撒くこともあるでしょう。しかし、目の前で息絶えてゆく姿に「極楽往生して下さい」と思う人は稀であります。

ただ筆者は例のコマーシャルを見て直感的に思つたことがあります。それは「ゴキブリ・ケイム・フロム・ヘブン」ということ。言うなれば「仏さまの使いでこの世に現れた」という事です。今からその理由を説明しますので、嫌がらず最後までお付き合い下さい。

しも悪者というわけではありません。しかし『維摩經』という経典にはこのようなボサツの変化身のありようがもつと具体的に説かれており、時としてボサツさんは私たちの目の前に魔物の姿ともなつて現れる、ということが書かれています。

に身を変化させて、私たちを導いてくれると説かれている個所があります。ここで気付くことがあるのですが、その三十三の具体的な姿の中には阿修羅や夜叉など、見りさん、どうか極楽往生しますように」とでも訳せばよいのでしょうか。

古今東西、兎角人間から嫌われてきた彼の生物であります。新聞紙で叩き潰すこともあるれば、殺虫剤を撒くこともあるでしょう。しかし、目の前で息絶えてゆく姿に「極楽往生して下さい」と思う人は稀であります。

ただ筆者は例のコマーシャルを見て直感的に思つたことがあります。それは「ゴキブリ・ケイム・フロム・ヘブン」ということ。言うなれば「仏さまの使いでこの世に現れた」という事です。今からその理由を説明しますので、嫌がらず最後までお付き合い下さい。

ついでに、このままでは、心の状態をお見通しで私たちを教え導く際には時として恐ろしい様相を見せたり、反対に穏やかで安樂な様相を見出すものだ」と。

現代社会と仏教

視点を変えること

「仏さまというのは私たちの心の状態をお見通しで私たちを教え導く際には時として恐ろしい様相を見せたり、反対に穏やかで安樂な様相を見出すものだ」と。

つまり目の前のゴキブリは、怠慢な私たちに向かって仏さまやボサツさんが見えていますから、必ずその姿をもって現れ、カサカサ不気味に動き回っては教えを説いてくれているのかもしれない。ゴ・・・いや仏さま観音さまが「ほれ、おまえさん、少し家の中が散らかってきてはいませんかい。このままだとえらいことになりますぞ」と教えてくれているのです。

あの嫌われものの姿は、決してそうではない、仏さまの姿なのだと。真夜中のオドオドした心で遭遇すれば、悪魔以上の恐ろしき生物に見えたよりもしますが、本当は仏さま、ボサツさまなど。そのくらいの心の余裕なり穏やかさが必要なのかも知れません。

井戸端会議 其の二

青年僧のみなさんと

今回、若い僧侶の会合があると聞き、お邪魔してきた。色々聞いてみると、お寺の子息が在

家か、また、前職の有無によつて見方が違うなんて事が分つて

きて……。

◇僧侶になつたきっかけは?

・家がお寺でした。

・大恋愛の末、結婚した相手が

たまたまお寺の娘さんでした。

・他の仕事に就きましたが、人手が足りないと言われ、僧侶

になりました。

◇前職のある方は、どんな職業に?

・所謂サラリーマンでした。

◇本山の修行は?

・行院(比叡山の修行道場)に行き、大学生活やその後のお寺生活にもいい意味で影響がありました。

・その時は無我夢中だったのですが、もう一度行けと言われたから考えちゃいます。(汗)

・石材店や清掃関係等転々としましたがいい経験が出来たと思っています。

・所謂コンピュータ関係。

天台青少年 比叡山の集い

参加者募集

平成22年8月2日(月)
～8月5日(木)

於 総本山 比叡山延暦寺

参加費:無料

※中学生であれば、誰でも参加可能

お申し込み、お問い合わせは東京教区宗務所か菩提寺まで

(小声で) 在家の方はお寺の息さんと何か違つた? やはり眞面目で真剣な方が多い気がしました。だからと言つてお寺の息さんが不真面目と言う事ではないですよ。

（笑）やはり、人生は一生修行なのだと感じます。実際は檀信徒方に学ぶ事も多く、自分も成長する事が出来ます。

◇お寺業務で苦労したこと、驚いたことは?

・様々な宗教関係の質問に苦労しました。もとと自分自身経験を積んで知識と教養を身に付け、質問に応えて行きたいです。

・私の所は、読誦会をと「声があり、やりたいと思つてます。

・私は神社仏閣巡りのウォーキングを行つています。今は気の合う仲間の少人数ですが、お経をとなえているだけでは、いけないと感じます。も

っと檀家さん信者の話しが、面白いと感じます。

・私は一般(在家)からこの世界に入つたので今は目の前の問題を消化するだけで精一杯です。

・一番驚いたのは、住職も私もお寺から給料を貰うという事です。

・給与制って意味だと、普通の会員と変わらないですよ

ね。この辺が一番誤解されやすいかもしれませんね。自分はお

寺の生まれですが、最近まで師匠(父親)が給与所得者でした。

・行院には在宅から来ている方もいて、良い刺激をもらいました。

・（小声で）在家の方はお寺の息さんと何か違つた? やはり眞面目で真剣な方が多い気がしました。だからと言つてお寺の息さんが不真面目と言う事ではないですよ。

（笑）やはり、人生は一生修行なのだと感じます。実際は檀信徒方に学ぶ事多く、自分も成長する事が出来ます。

◇お寺業務で苦労したこと、驚いたことは?

・様々な宗教関係の質問に苦労しました。もとと自分自身経験を積んで知識と教養を身に付け、質問に応えて行きたいです。

・私の所は、読誦会をと「声があり、やりたいと思つてます。

・私は神社仏閣巡りのウォーキングを行つています。今は気の合う仲間の少人数ですが、お経をとなえているだけでは、いけないと感じます。も

っと檀家さん信者の話しが、面白いと感じます。

・私は一般(在家)からこの世界に入つたので今は目の前の問題を消化するだけで精一杯です。

・一番驚いたのは、住職も私もお寺から給料を貰うという事です。

・給与制って意味だと、普通の会員と変わらないですよ

事が大切だと思います。坐禅会や写経会を行つて、いる

・私の知り合いは、本堂でコンサートをしたり、ギャラリーなどを企画して一般の方に開放しています。

・もともとお寺は地域のコミュニティーの場、みんなのお寺驚きましたが、当日の朝その会場となるお寺を掃除していく自分が忘れられません。

・お寺の役割があるはず。それはお寺によって違つるのは当然。だからこそ、失敗を恐れずに何でもやってみたいですね。

・自分で無く、積極的に社会奉仕するべきでしょう。

・自分達も、寺に人を集めることのみで、常に檀信徒や社会との係わりを考慮して寺院を支えていく

・僧侶とは「職業」か否か。経済社会が成長をしていった時代と比べ、これから寺と世間との関係は、変化を避けられないだ

・現代に合つたお寺の役割があるはず。それはお寺によって違つるのは当然。だからこそ、失敗を恐れずに何でもやってみたいですね。

・自分達も、寺に人を集めることのみで、常に檀信徒や社会との係わりを考慮して寺院を支えていくべきなのだろう。

仕に努める事も大事でしょう。



東光院本尊 薬師如來

高弟、光尊阿闍梨。長禄元年（四五六七）太田道灌が江戸城築城の際、日頃より当寺本尊の薬師如來に帰依していたため、当寺を江戸城の鬼門にあて、武運長久を祈願したと伝えられている。当初は局沢（現在の皇居内吹上御苑あたり）にあつたが、後に常盤橋御門の北部、さらに小伝馬町へと移り、振袖火事（六五七）の類焼を受けた後、現在の浅草新寺町へ移った。

慶長年間（五九六一六四）には、江戸天台三ヶ寺は浅草

寺を建立。疫病は瞬く間に千代田区平河町周辺）に当

疫病が流行し、我が事のように悲しまれた淳和天皇は、慈覺大師に疫病退散の祈願を下命された。慈覺大師は、京都の清水寺の自ら千手觀音

を刻んで、江戸に搬入して、江戸の清水寺の觀音様に倣い、自ら千手觀音

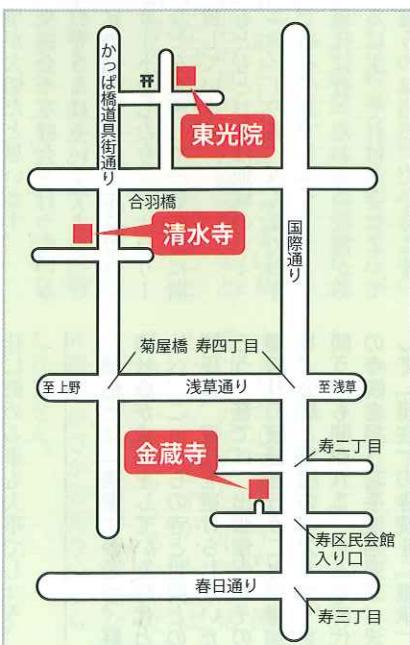
寺、觀理院（日枝神社別當）、東光院といわれ、末寺二〇八ヶ寺を有する總本寺で薬師信仰の拠点とされた。また慶應四年（八六八）江戸幕府崩壊時、薩長軍と彰義隊の上野戦争が起り、輪王寺宮（公現法親王）を当寺に匿つたことにより、明治新政府より数々の圧迫を受けたが、現在もなお、浅草薬師の通称で知られている。

浅草薬師

とうこういん



清水寺本尊 千手觀音



天長六年（八二九）、天下に疫病が流行し、我が事のように悲しまれた淳和天皇は、慈覺大師に疫病退散の祈願を下命された。慈覺大師は、京

都（現在の東京都）に三間半の本堂であった。阿弥陀如來三尊の他に、地藏尊、文殊菩薩（運慶作）等があり、境内には、弁天堂や聖天（歡喜天）堂や池があつたと伝わっている。当寺は、延宝八年（六八〇）

せいすいじ

江戸三十三觀音第二番札所

天台の寺めぐり

29

かっぱ橋周辺

堀に当寺が建立された。その後、寛永十二年（六三五）に三田へ移つたが、良地ではなかつたため、天海大僧正の尽力により、現在の浅草の地へ移築された。当初は、間口六間・奥行四間半の本堂であった。阿弥陀如來三尊の他に、地藏尊、文殊菩薩（運慶作）等があり、境内には、弁天堂や聖天（歡喜天）堂や池があつたと伝わっている。



ほほえみ地蔵

慶長年間（五九六一六四）には慶円法印が当寺を中興され、家康公入府による江戸城修築のため、馬喰町へ移り、さらに振袖火事の後、現在地に再興された。「江戸名所図会」にも清水寺観世音菩薩と掲載されており、現在も江戸十三觀音靈場の第二番札所として、参拝者が絶えない。

開基は弘法大師（伝）とされているが、後世代は不詳。慶長十六年（六一一）に江戸八丁堀に当寺が建立された。その後、寛永十二年（六三五）に三田へ移つたが、良地ではなかつたため、天海大僧正の尽力により、現在の浅草の地へ移築された。当初は、間口六間・奥行四間半の本堂であった。阿弥陀如來三尊の他に、地藏尊、文殊菩薩（運慶作）等があり、境内には、弁天堂や聖天（歡喜天）堂や池があつたと伝わっている。当寺は、延宝八年（六八〇）に佐倉藩主・堀田正信公の菩提寺となつた。正信の祖父は家康公に仕えた堀田正吉。父は家光公を老中として支えた正盛で、現在は堀田家家老や家臣の菩提寺として多くの参詣者が墓参する。

こんぞうじ

ほほえみ地蔵